

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	6	事業名	ながくて地域スマイルポイント事業		担当課		福祉政策課		
			(中事業名) ながくて地域スマイルポイント事業		予算区分（款-項-目-中事業）		3-1-1-6 ながくて地域スマイルポイント事業		
					決算書ページ		94	～ 94	一般
I 基本情報	総合計画	基本目標	1	「やってみたい」でつながるまち					
		政策	1	地域共生を支える人づくり					
		施策	(3)	市民活動や地域活動に参加しやすい環境づくり					
	その他	開始年度	平成27年度						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可		
		根拠法令等	なし						
		関連計画	なし						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）			
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 概ね60,000人 【事業内容】 市民活動参加のきっかけづくりのため、市民活動に参加した人に対してポイントを付与し、貯まったポイントを、交換品に換えることができる事業を行う。		【アクションプラン指標】 ポイント交換者数【単年】 【その他の指標】 市民団体新規登録 スマイルポイント事業 個人登録者		社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保護司会・更生保護女性会、市民活動に取り組む団体等と連携し、地域福祉を推進する。 (成果指標名) スマイルポイント事業交換者数		大事業共通 地域共生社会の実現を目指し、「気づき、つながり、届き、支え合う、たつせがあるまち ながくて」をつくる。	

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度
		1	【アクションプラン指標】	人	基準値	559	目標値	550	550	550	550	550
			目標値		550	実績	618					
		2	【その他指標】	団体	基準値	—	目標値	5	5	5	5	5
			目標値		—	実績	1					
		3	【その他指標】	人	基準値	—	目標値	900	900	900	900	900
			目標値		—	実績	875					
		4			基準値		目標値					
			目標値			実績						
エピソード	事業開始の背景	平成26年9月策定の地域福祉計画・地域福祉活動計画に次いで、平成31年に第2次長久手市地域福祉計画を策定し、地域福祉を推進している。平成28年1月に、市民活動のきっかけづくりや、健康づくり・介護予防等を目的として、ながくて地域スマイルポイント事業実施要綱を制定。										
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	R 6	・ポイント交換者数は見込みを上回り、新たな事業参加登録者や市民団体の新規登録については見込みを下回った。このことから事業が定着してきたと考える。 ・市民活動のきっかけづくりという事業開始当初の目的が概ね達成されたことから、事業廃止に向けた検討を始めた。				R 7						
	R 8					R 9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		スマイルポイント事業交換者数		人	H28 年度		H31 年度		【現状】 R6 年度		R7 年度		R8 年度	
					105		580		618		650		700	
		成果達成状況						指標目標値の根拠						
		A	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						R1実績580、R2実績454、R3実績435 と減少傾向にあったが、R4実績は518と微増に転じた。コロナ禍収束後の活動の活発化もあり、R6は618 と増加した。 事業総点検で事業廃止が決定し、残ポイントの精算を含めポイント交換を行う人が増加すると見込み目標を設定した。					
	評価の理由、分析													
	昨年度、今年度と目標を達成することができ、順調に推移している。 市民活動参加のきっかけづくりのためという、事業開始当初の目的が概ね達成されたと分析できる。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由										
		D	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		市民活動参加のきっかけづくりのためという、事業開始当初の目的が概ね達成されたことから、事業総点検検討会議において事業廃止に向けた検討を行っていくこととなったため。									
		改善ポイント												
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）														
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度				
1	ながくて地域スマイルポイント事業	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	事業開始当初の目的が概ね達成されたことから、事業総点検検討会議において事業廃止に向けた検討を行っていくこととなった。							R7				
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		C	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
			C. 縮小 D. 廃止			5, 872	4, 949	5, 439	5, 439	5, 345	
		理由			特定財源	合計額				10	
		事業が定着し、市民活動のきっかけづくりという事業開始当初の目的が概ね達成されたことから、廃止に向け検討することとなったため。				(内 国費)					
						(内 県費)					
						(内 諸収入)					
						(内 その他)				100	
		積算額			一般財源	5, 872	4, 949	5, 439	5, 339	5, 345	
		ながくて地域スマイルポイント事業業務委託 -1, 661千円 印刷製本費 -169千円			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞ 地域スマイルポイント還元品 3, 500千円（3, 500千円） ながくて地域スマイルポイント事業業務委託 1, 661千円（1, 661千円） 消耗品費 15千円（20千円） 印刷製本費 169千円（226千円）						